

北陽同窓

会報 第32号

2009年12月31日

発行 関大北陽高校同窓会
編集 同窓会広報委員会
印刷 (株)キュー・プロダクト
題字 関東支部 内海 昭

同窓会運営にあなたのお力添えを

関西大学北陽高等学校同窓会 会長 神山 興三 (昭和33年度卒業)



同窓会会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動に対しまして、ご支援ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

昨年4月に新生北陽高校が誕生し、男子校から共学校に生まれ変わりました。来年4月には、中学校が開校の運びになっており、中高一貫の教育をめざし、より良い教育環境を築き、将来に備え、ますます発展さ

れますことを願っております。

第32期定期代議員会において決議された事項及び同窓会方針をご報告いたします。

○会報「北陽同窓」の発行については、昨年の定期代議員会において継続審議となっておりますが、次の通り会報発行及び送付を決めさせていただきます。

1. 卒業時から5年間は送付する。
2. 前1以外の同窓生には、同封の返信ハガキに「送付の有無」を回答

して頂き希望者のみ送付する。

3. 5年に一度は、「記念特集号」として全同窓生に送付する。(今回は第35号)
4. 同窓会のホームページ<<http://www.hokuyo-ob.jp>>からダウンロードして頂くことを継続して告知する。

○昨年11月に始めて開催した還暦同期同窓会を、「還暦を契機に恩師、同窓と旧交を温めて頂くための集い」と発展させ、開催日を毎年11月の第二土曜日と定めて、原則として60歳以上の方を対象に参加して頂き、同窓会活性化の一翼を担うことを願っております。

○母校、恩師との絆をより深め三位一体の関係を再確認し、加えて部活関係者との連携をより密接にして、同窓会組織の確立を一段と推し進めていきたいと思っています。

以上、役員一同同窓会発展のため一丸となって、皆様のご期待に添えます様頑張っていく所存であります。ぜひとも皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



北陽中高一貫教育のビジョンについて

関西大学北陽高等学校 校長 鈴木 清士



平成19年3月に関大と北陽の代表者で組織された併推進協議会が設置され、その年の11月に北陽中学校の設置に関しての検討会議がスタートしました。中高一貫の6年間かけて「知徳体の調和のとれた人間育成」という北陽の教育理念を確実に実現させよう、という話であります。

人事の面では、中学校教育の中心的な役割を担う先生を5人採用し、北陽中学の教育の特色、中高一貫の教育プログラムを策定してまいりました。一方、中学校の校舎であります。4月から始まった工事はきわめて順調に進んでおり、竣工式は12月16日の予定です。

さて、子どもには学力以外にも芸術的な能力、体力・運動能力、社会的な能力など様々な能力をもっていますが、最も大切なのはそれら個々の能力ではなく、それらを束ねる根源的な力、すなわち「人間力」(知徳体を統合する力)であると思っています。授業を中心とした学習活動、クラブ、学校行事その他あらゆる活動を通して、学力と人間力を中高の6年間かけて伸ばす。自分の夢を叶えるべく難関大に進学できる学力を身につける、そして学力だけじゃない、人間力というプラスアルファを付ける、そして社会へ出たらしっかり社会貢献、国際貢献をする、そういう人間を作っていく、これが関大北陽の教育のビジョンです。

歴史を紐解けば、新学制により昭和22年に北陽中学校が開設されました。しかし、経営的な問題から昭和28年には早々と閉鎖しています。新しい中学校の設置は私たちにとっても、また第八代林敏夫校長にとっても長い間の悲願でありましたが、その夢の実現が目の前にきました。感慨ひとしおであります。

同窓会の皆様、以前にも増して「北陽愛」を持ち続けていただき、母校の存続・発展に対して益々のご協力とご指導のほどお願い申し上げます。



関西大学北陽中学校

平成21年度 第32期定期代議員会報告

昭和17年卒業生から平成12年卒業生の代議員53名がご出席され、
以下の議案を熱心にご審議いただいた。

●日時：平成21年4月18日(土曜日) 午後4時より ●場所：関西大学北陽高等学校 1階大会議室にて



議案

第1号議案 会報の発行について(省略)

第2号議案 平成20年度事業報告について

- 1) 平成20年度母校は、「福武学園北陽高等学校」から「関西大学北陽高等学校」に改称。
- 2) 関西大学北陽高等学校の第1期生は男子354名、女子138名の492名が入学した。
- 3) 平成20年9月11日(木)、第13回ゴルフコンペを山の原ゴルフクラブに於いて80名の参加をいただき開催した。
- 4) 平成20年11月15日(土)、母校にて昭和42年卒業生を対象の第1回還暦同期同窓会を開催した。
- 5) 平成21年1月20日付けで関西大学校友会の組織に加入した。
- 6) 今春の卒業生に卒業記念品「USBフラッシュメモリー」を贈呈した。今後は継続して卒業記念品を贈呈する。

第3号議案 平成20年度決算報告及び第4号議案

平成20年度監査報告について

別掲のとおり(3ページ)

第5号議案 会則・個人情報保護指針等

規約改正について

別掲のとおり(4~5ページ)

第6号議案 役員構成と担当業務の変更について(省略)

第7号議案 平成21年度事業計画について

- 1) 関西大学校友会組織に加入、同窓会活動は独自活動路線を踏襲する。
- 2) 関西大学校友会に会員名簿の一括管理を委託する。
- 3) 代議員の方に同窓会の実行組織である委員会に参

画協力いただきたい。

- 4) 還暦同期同窓会を毎年11月の第2土曜日に開催する。
- 5) 22年度以降の会報送付は希望者のみとし、5年に一度は全会員に送付すること。
- 6) 同窓会の支援事業として、クラス会・クラブOB会・同期会等を開催時に一定の条件を満たした場合、助成金を補助していきたい。
- 7) 会報の「ご紹介します」欄に店舗紹介等、卒業生の皆さんからの情報発信としてご利用いただきたい。

第8号議案 平成21年度予算について

別掲のとおり(3ページ)

第9号議案 関東支部の活動報告について(省略)

第1号議案から第9号議案まですべて、全員賛同による決議がなされた。

代議員会終了後、関西大学北陽高等学校2階大食堂にて全員による懇親会が催された。



平成20年度 決算報告書

自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日

収入の部

(単位 円)

科 目	予 算	実 績	摘 要
前期繰越金	7,916,587	7,916,587	
会 費	945,000	925,000	185名分×5,000
会員・会報協力金	1,600,000	945,000	会報協力金92万円・ 会員協力金2万5千円
代議員会会費	300,000	345,000	69名分×5,000
雑収入(受取利息等)	5,000	19,763	
総 合 計	10,766,587	10,151,350	

支出の部

科 目	予 算	実 績	摘 要
会 議 費	50,000	17,000	
代議員会会議費	300,000	295,100	
人 件 費	400,000	400,000	
交 通 費	230,000	191,480	
消 耗 品 費	120,000	230,475	インクジェット、部品交換、封筒ほか
通 信 費	1,200,000	1,298,050	会報発送費、郵便切手・ハガキほか
慶 弔 費	100,000	435,874	課外活動副賞、卒業贈呈品、供花ほか
雑 費	350,000	252,916	コピー機使用料、写真代、振込料金等
予 備 費	100,000	105,000	同窓会旗
小 計	2,850,000	3,225,895	
会 報 発 行 費	1,200,000	1,444,575	HP費用・払込票・ポリ封筒・会報等
組織強化推進費	100,000	25,678	払出し料、お礼
事業運営費	200,000	23,225	ゴルフコンペ諸費用等
小 計	1,500,000	1,493,478	
合 計	4,350,000	4,719,373	
次期繰越金	6,416,587	5,431,977	
総 合 計	10,766,587	10,151,350	

上記のとおり収支決算をご報告申し上げます。

平成21年3月31日

関西大学北陽高等学校同窓会 会計 岡田 武志

平成20年度会計監査

会計監査報告

平成20年度関西大学北陽高等学校同窓会会計について、諸帳簿・諸伝票・銀行預金残高証明書・預金通帳などを監査いたしましたところ、収入、支出及び会計管理状況は適切なものと認められました。よって、ここに報告申し上げます。

平成21年4月11日

関西大学北陽高等学校同窓会

監 事 栗原 貞雄
監 事 北川 徹

平成21年度 会計予算書

自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日

収入の部

(単位 円)

科 目	予 算	摘 要
前期繰越金	5,431,977	
会 費	1,005,000	201名分×5,000(卒業予定者数201名)
会員・会報協力金	945,000	前年実績
代議員会会費	200,000	50名分×4,000
雑収入(受取利息等)	5,000	
総 合 計	7,586,977	

支出の部

科 目	予 算	摘 要
会 議 費	50,000	
代議員会会議費	200,000	
人 件 費	50,000	
交 通 費	150,000	
消 耗 品 費	200,000	インクジェット、封筒、事務消耗品ほか
通 信 費	1,300,000	会報発送費、切手・ハガキほか
慶 弔 費	450,000	卒業祝贈呈品、課外活動副賞、電報・供花等
支 部 費	100,000	関東支部
雑 費	300,000	コピー機使用料ほか
予 備 費	50,000	
小 計	2,850,000	
会 報 発 行 費	1,500,000	会報発行、HP運用等
組織・事業運営費	100,000	運営費
小 計	1,600,000	
合 計	4,450,000	
次期繰越金	3,136,977	
総 合 計	7,586,977	

関西大学北陽高等学校同窓会会則

第1章 総則

(名称及び事務局)

第1条 本会は、関西大学北陽高等学校同窓会(通称:関大北陽同窓会と言う)と称し、事務局を(大阪市東淀川区上新庄1丁目3番26号)関西大学北陽高等学校同窓会室に置く。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 本会の機関紙「北陽同窓」会報の発行及びホームページの運用。
- 2 本会員相互の親睦を図る事業。
- 3 学校主催の各種行事への参加及び母校の発展に寄与する事業。
- 4 本校生徒に対するスポーツ活動・文化活動を振興支援する事業。
- 5 その他目的達成に必要な事業運営を図るために委員会を設ける。

第2章 会員

(会員)

第4条 本会の会員は、次のとおりとする。

- 1 正会員
 - (1)北陽商業学校、北陽工業学校、北陽商業高等学校、北陽中学校及び北陽高等学校、関西大学北陽高等学校の卒業生。
 - (2)上記学校に在学した者で役員会の承認を得た者。
- 2 特別会員
母校の現教職員並びに旧教職員で役員会の承認を得た者。
- 3 名誉会員
母校若しくは本会に特別な関係があると認められる者で、役員会の承認を得た者。

第3章 役員及び役員会

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|-----------|-----|
| (1) 会 長 | 1 名 |
| (2) 副 会 長 | 3 名 |
| (3) 理 事 | 若干名 |
| (4) 会 計 | 1 名 |
| (5) 監 事 | 2 名 |

(役員を選任)

第6条 役員を選任については、次の方法による。

- 1 会長は、役員会の推薦により代議員会の承認を得るも

のとする。

- 2 会長を除く役員は、会長が委嘱し代議員会の承認を得るものとする。
- 3 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(役員会務)

第7条 役員は、次のとおり会務を分掌する。

- 1 会長は、本会を代表し会務を総括する。
- 2 副会長は、本会の会務に関与すると共に会長を補佐し、会長がその会務にあたることができないときは、会務を代行する。
- 3 理事は、本会の会務を執行し、協議運営に関与すると共に委員会の任にあたる。
- 4 会計は、本会の会計事務を処理する。
- 5 監事は、本会の会計を監査する。

(役員会)

第8条 役員会は、毎年2回これを開く。ただし、必要と認めるときは臨時にこれを開くことがある。

(役員会の召集)

第9条 役員会は、会長が召集し役員総数の半数以上(委任状を含む)の出席を必要とする。

(役員会の議決)

第10条 役員会の議決は、多数決を以って成立するものとする。ただし、同数の場合は会長がこれを決する。

第4章 代議員及び代議員会

(代議員及び定数)

第11条 本会に代議員を置き、定数は原則各年代卒業生の中より選出された者、300名以内とする。

(代議員の選任)

第12条 代議員は、会長が委嘱するものとする。

(代議員会)

第13条 代議員会は、本会の最高議決機関である。

- 1 代議員会は、毎年春に開く。ただし、必要と認めるときは臨時に開くことがある。
- 2 代議員会は、会長がこれを召集し次の議事を審議する。
 - (1) 事業報告及び決算報告。
 - (2) 事業計画及び予算。
 - (3) 役員承認。
 - (4) その他重要な審議事項。

(代議員会の議決)

第14条 代議員会の議決は、出席代議員の多数決を以って成立するものとする。

第5章 顧問

(顧問)

第15条 本会に次の顧問を置く。

- (1) 名誉顧問
- (2) 顧問

(顧問の選任)

第16条 本会顧問の選任は、次のとおりとする。

- 1 名誉顧問は、関西大学北陽高等学校校長を推戴する。
- 2 顧問は、前任役員の中から会長が推挙する。

(顧問の職務)

第17条 名誉顧問及び顧問は、本会の相談に関与する。

第6章 支部**(支部)**

第18条 本会の目的に沿って支部を置くことができる。

(支部の会務)

第19条 支部に支部長を置き、支部長は支部を統括し会則、役員名、重要事項、その他必要に応じて支部の状況を会長に報告し連絡を密にするものとする。

第7章 会計**(運営)**

第20条 本会の経費は、会費、協力費、篤志家の寄付金及びその他の収入を以てこれに充てる。

(会計年度)

第21条 本会の会計年度は、毎年4月1日より3月31日までとする。

第8章 補則**(補則)**

第22条 本会会則の変更あるときは、役員会の議を得て代議員会に諮り承認を得るものとする。

第23条 その他定めなき重要な事項は、役員会の議を得て代議員会に諮り別途定めるものとする。

第24条 本会会則施行に関し必要な事項は、内規に定めることとする。

附 則

この会則は、昭和54年9月22日から施行。

平成5年5月8日から改正施行。

平成9年4月19日から改正施行。

平成13年4月21日から改正施行。

平成18年4月1日から改正施行。

平成21年4月1日から改正施行。

関西大学北陽高等学校同窓会の個人情報保護指針

(個人情報の取り扱い)

第1条 本会は、基本的人権とプライバシー保護の観点から、個人の重要な財産である個人情報の適切な利用と保護の徹底を図り、会員の信頼を得るために個人情報に関する法律を遵守する。

(本会会員の個人情報)

第2条 本会会員が登録している個人情報は、住所・氏名・電話番号・卒業年度・組・在籍学科。

(利用目的)

第3条 本会会員の個人情報は、次の事案に利用することとする。

- 1 本会機関紙「北陽同窓」会報の送付。
- 2 代議員会等案内状の送付。
- 3 本会の行事等案内状の送付。

(個人情報の開示・提供)

第4条 本会会員の個人情報は、第三者に対して開示・提供は行わない。ただし、次に該当する場合はその限りではない。

- 1 同窓会の個人情報一元管理を行う関西大学校友会。
- 2 「北陽同窓」会報の発送に関して、本会と機密保持契約を締結している業務委託会社。
- 3 法令等に基づき、提供に応じなければならない場合。

(個人情報の管理)

第5条 本会会員の個人情報は、紛失・誤用・改竄や外部からの盗難及びアクセス等の進入に対して厳重に管理する。

(個人情報の照会)

第6条 本会会員の個人情報は、会員本人若しくは代理権を有する代理人の申し出により個人情報保有データの開示請求書(別紙資料1)の提出があった場合に限り、その登録情報を開示・追加・訂正・削除または利用停止等を行う。

附 則

この指針は、平成18年4月1日から施行。

平成21年4月1日から改正施行。

恩師との出会い



「恩師、宗平さん」

大谷 宗平(社会科)
昭和39年9月1日～平成16年3月31日



卒業して10数年経って、仕事で道端でバツリと同級生と会ってから毎年一緒に飲むようになり、その度に同級生も一人・二人と増えミニ同窓会の体をなす様になり、夏は「暑いから一杯飲むか」、冬は「寒いから飲むか」、忘年会は?、新年会は?。とかく理由をつけては飲む。

そんな中「宗平さん呼ぶか?」と一人が言い出した。「宗平さん」失礼な呼び方は重々承知のことである。

その人「宗平さん」とは、我らが担任であり、恩師である第九代校長「大谷宗平先生」のことである。

もちろん忙しい中、不肖の元生徒のために時間を割いて快く参加して下さる。「卒業しても10年間は同窓会をしない。その理由はまだ君らがフラフラして人生の方向付けがしっかりと出来ていないと思うから。」と言っていた。(自分に限り、この事は当たっていました。)

その「宗平さん」が一緒に飲んでいても決して説教しない。昔話もしない。むしろニコニコして自分らの話を聞いてくれる。

その存在感が酒をおいしくしてくれる。帰りの車も仲間の一人と途中までは一緒にくださり、本当にひと時だけが昔に戻った様な気になれる。

うれしい限りである。在学中よりもずっと身近に感じられる。恩師には違いないが、自分にとってはよき先輩のような人である。(失礼。)

今は退職なさり元気で地域の活動に参加しておられる様子を伺い、うれしく思います。

このような人柄の恩師の下を卒業した我ら「大谷学級」間違いがあるはずがなく、元気で今年もまた、そろそろ寒くなり「飲むか?」という話が出ています。

そして誰かが言うでしょう、「宗平さん呼ぶか!」と。(昭和46年度卒 西岡 瑛司)

恩師の思い出

藤森 雅隆(理科)
平成12年4月1日～現在に至る



私の恩師の先生は理科担当の藤森雅隆先生でした。

藤森先生は私が今まで出会って来た先生の中で一番ユーモアがある先生でした。藤森先生の授業スタイルは、テスト目前まで雑談7授業3といった割合で授業を進めて行き、テストが近くなってようやく焦ったように授業を進めるような先生でした。

ある時、映画ロッキーを熱く語っていた先生は何を思ったのか突然大声で「エイドリアン!」と叫び、隣の教室で授業をしていた別の先生に「うるさい!騒ぐな!」と怒鳴られ、藤森先生は平謝りしていました。

こんな変わった先生だったので生徒から人気があり、生徒達も楽しく真面目に授業を受けていました。

私も藤森先生の授業が大好きで、それまであまり好きではなかった理科も楽しく勉強することができテストでも良い点をとれるようになっていました。

しかし、藤森先生もただ楽しいだけの先生ではなく、教室の空気がゆるんでいたりすると激を飛ばしたり、怒る時は怒る熱い先生でもありました。

私は本当に藤森先生の生徒で良かったなと心から思います。もし藤森先生のような先生に出会っていなければ私はつまらない高校生活を送っていたかもしれません。

だから、藤森先生には本当に感謝しても仕切れないほど素晴らしい先生でした。(平成18年度卒 淵田 直樹)

恩師

「佐藤誠一先生」

佐藤 誠一(社会科)
昭和38年1月10日～平成2年3月31日



私は昭和42年商業科入学。2年、3年は佐藤誠一先生が担任でした。先生との思い出は山ほどありますが少し記させていただきます。

先生は身体小柄だが敏捷で、根回し先生という印象は今でも記憶に新しい。先生は大学卒業後サラリーマンを10年経験された後、母校北陽高へ赴任されたと聞いています。民間企業経験が在る結え、社会経験で物事を捉えられ、当時定時制の教鞭もとっておられた。私は3年時の放課後、先生の紹介で定時制の皆さんとも会話をした事しほし、実社会で勤労され勉強されている方々の一語一語に尊敬の念を懐きながら話を聞かせて戴いた事は今も忘れません。またクラス内で授業始まるチャイムが鳴っているのに着席しない場合や、大声で話をしたりしていると先生からクラス全員に話が在り、このクラスの中で新聞配達をしなから学校に通っている生徒がいる。皆も見習いなさいと数分お説教が始まる事もしほし。生徒の名前は言わないが私は誠に恥づか

しく下を向いていた事も忘れられない。

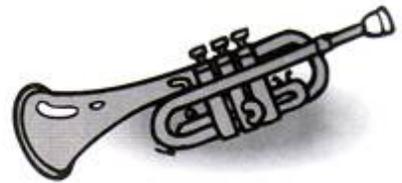
ある時、先生から「新聞配達をして大学に進学している人もいるから、考えてみたら」と勧められました。しかし私の意志は固まっていて就職と決めていました。その後、就職先も決っていたが、大学の事も忘れられずにいた時、夜間大学の事を知り、会社の人事の方に、勤務後の通学を許可してもらえないかと相談したが却下された。先生は、「人生はその時その時が勉強、だから気にするな」と言われ、経験する全てが勉強と考えた。

卒業して数年経った時、先生から同窓会事務局長をしているが、「少し手伝ってくれないか」とお話を頂き出来るだけ参加する事にした。経験が自身を育てるとの気持ちがあるゆえ快諾した。また、息子が母校にお世話になった1年の時、担任の先生から私に「佐藤先生から北川さんのことを聞いています」と言われ、PTAのクラス委員の要請を受けました。2年の時には林元校長先生からは、「父兄の皆さんから君を次期会長に話があるので、やってくれないか」とお話頂いたので、佐藤先生に相談したところ「君が決めれば良い」と言われ、下名の器ではなくあれこれ迷ったがお引受けさせて頂いた。

今思うと高校2年から現在まで、いや今も佐藤先生がおられ関わって頂いている。お年を召されているが、いつまでもお元気で居て頂きたいと思っています。感謝申し上げます。(昭和45年度卒 北川 徹)

『ジャズバンド部とともに歩んで』

関西大学北陽高等学校 ジャズバンド部顧問 手嶋 正雄 教頭先生



ジャズバンド部は一般のプラスバンドとは異なり、ジャズを中心に演奏活動しているビッグバンドスタイルのバンドで、前身の吹奏楽部を編成変えて以来、今年で22年目を迎えます。その間、微力ながら私が指導者を務めてまいりました。現在、1・2年生で40名(男子13名、女子27名)の部員がいます。1年間には、20回以上の本番のステージでの演奏

活動を行っています。

22年の歴史の中で、男子校であった旧北陽高校の時代には部員集めが最大のテーマでした。様々な勧誘をして集めた初心者が大半の部員たちに、いちから音楽とジャズを教え、まずは音楽を楽しむこと、そして日々の練習を通じてより高いレベルの目標を持つこと、そして聴衆に感動を与える演奏ができることをめざして指導してきました。華々しい活躍をする運動部の指導者にも負けない気概を持ってきたつもりです。前記のジャズフェスティバルでの、神戸市長賞や文化振興財団賞、優秀賞など多くの賞の受賞は初心者からジャズを始めた部員たちの勲章です。彼らの中には、現在国内で活躍するプロミュージシャンも含まれています。

2年前に、本校は関西大学北陽高等学校と校名を変え、男女共学に移行しました。これまでの男ばかりのジャズバンドに女子が加わったのですが、演奏するスタイルもジャンルも目標も変わることはありま

せん。むしろ女子の予想以上のパワーにさらにモチベーションを高めているところですよ。

来年からは新しく開設される関西大学北陽中学校の中学生たちも高校生と一緒に練習することになります。これからさらにジャズの醍醐味を部員たち自身が理解し、彼らがビッグバンドジャズの素晴らしさを聴衆に与えられる演奏ができることを目指して進んでまいります。皆様のご声援をお願いいたします。

主な演奏活動の場は、定期演奏会(7月)、ジャバンスチューデントジャズフェスティバル、心斎橋ヤングフェスタ(古谷允氏と共演)、大阪府高校芸術文化祭典、私立中高芸術文化祭典、関西大学校友会での演奏、JAJE交歓演奏会、高槻ジャズストリート、御堂筋オープンフェスタ、枚方宿ジャズストリートビッグバンドフェスタ、水都大阪ビッグバンドライブ、神戸ジャズ、神戸元町ジャズピクニックなどです。



♪ありがとう! ジャズバンド部 平成19年度卒 萬 淳樹

私がジャズバンド部に入ったのは、私が中学三年生で、進路を考えている頃、ジャズバンド部の演奏を聴きに行き、サクソの音色に聞き惚れ、「この高校のジャズバンド部でサクソを吹きたい!」と思ったのがきっかけでした。一人一人の個性を伸ばしつつ、全員で一つの目標となる音楽に向けて練習を重ね、その目標をStudent Jazz Festivalで、最高の仲間たちと達成できた時の達成感、今でも忘れることができません。

演奏する上で大切なのは、「自己満足の演奏しない」ということだと思います。私たちMusicianは、「演奏させてもらっている」ということを忘れがちだと思います。「演奏できるということが、当たり前だ」と考えてはいけなと思うのです。「演奏させていただけ、その感謝の気持ちを伝えられるよう、日々練習しよう」これは、私がこのクラブですっと意識し、心がけてきたことです。今振り返ってみると、ジャズバンド部は、私にとって人生のターニングポイントでした。最高の仲間たち、そして音楽に出会えたことに感謝しています。ありがとう!ジャズバンド部!!

ジャズバンド部との出会い

平成4年度卒 西澤 宏之

僕がこのクラブに入ったきっかけは、学園祭の演奏を聴いて、楽しそうに見えて入りたくなりました。そして、手嶋先生に入部を申し込んだことを覚えています。

入った時は部員も大勢(人数は忘れましたが)居ました。クラブで楽しかったこともありましたが、出来なくて悔しかったこともありましたが、僕はレギュラーにはなれなかったのですが、このクラブで音楽の楽しさを教えてくれたいい場所でした。

今は仕事をしながらバンドを組んで演奏しています。これからも一生音楽をやって行きます。ありがとうございました。



還暦の再会

昭和43年度卒

還暦同期会開催に参加して

第2回「還暦同期同窓会」が11月14日に母校第2食堂で開催された。
 クラス担当の諸先生方をはじめ同期生20名、神山会長、世話役である同窓会役員が迎える中、15時に「会」は開かれた。
 式次第に従った進行中、「物故者への黙祷」では、43年の歳月が流れて、「今という時間を懸命に生きてきた」私達は、改めて亡き同期生への深い悲しみを心しておきたいと思う。
 校内施設見学の中では、ジャズバンド部の後輩たちが、「漲る水の大淀川の…」と校歌を生演奏



してくれたのには、共学になっても「伝統」は引継がれていることに安堵した。そして頼もしさも感じた。

丸テーブルに各クラス単位で座し、担任の先生を囲んで昔話に華やいだ。団塊世代である同期生は、生徒数が最も多く、冷暖房もないプレハブ校舎で過ごしたこともあった。

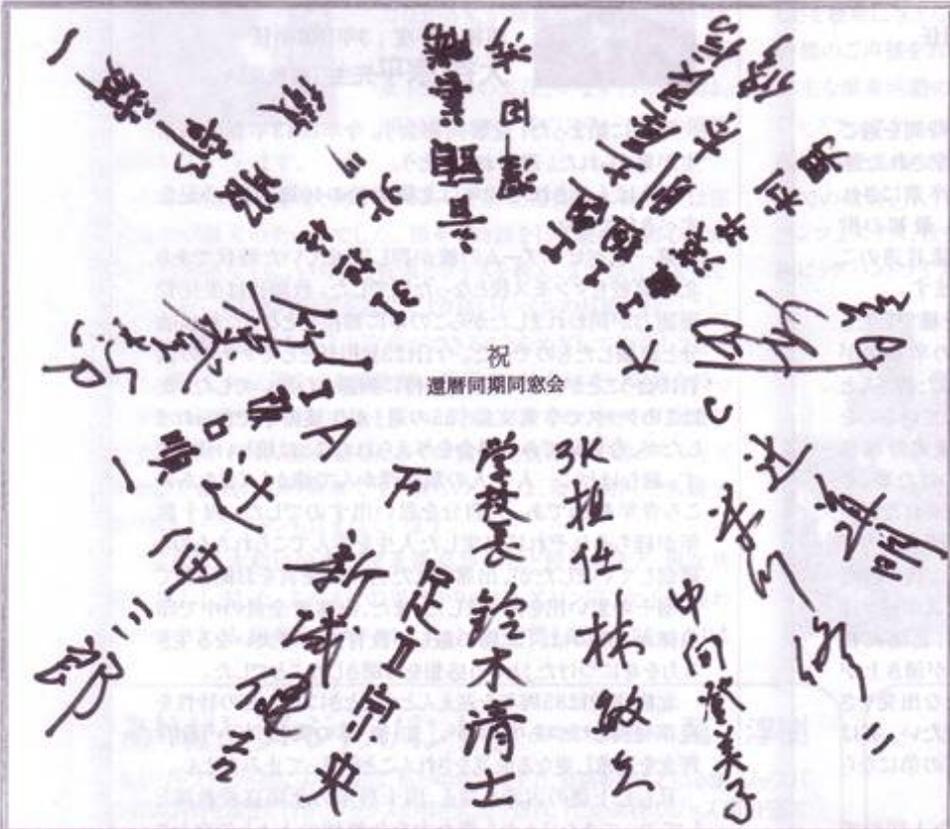
学生運動の余波もあってか、円形校舎の正門をバリケード封鎖、3年生の3学期から「長髪運動」の要求、40周年記念のメダルを進呈、スポーツ推薦制度の導入など、共通の話題で話は尽きなかった。物はなくても、元気な時代だった。

僧越ながら、代表して、かくも盛大なる「還暦同期同窓会」を設定して頂いた同窓会、並びに学校関係者の皆様方に深く感謝し、厚くお礼を申し上げます。
(昭和43年度卒 内海 昭)

第3回は、名称を「同期同窓会の集い」に変更還暦を向え、迎えられた方々に母校を訪ねていただき、恩師と同窓との再会の場になればと開催致します。

平成22年11月13日(土)
15時からご参加をお待ちしています。

相模・事業委員会より

昭和43年度卒 還暦の再会



還暦同期同窓会に 招かれて

昭和43年度 3年I組担任
服部 舜一先生

還暦を迎えられた皆様に再会して楽しい時間を過ごさせていただきました。昭和40年の春に入学された諸君と一緒に私も着任しました。昭和43年に卒業にされましたが、私は38年間お世話になりました。最初の担任として、卒業された昭和43年卒のI組の諸君達のことは特に印象深く、強心に刻み込まれています。

坊主頭でパワーあふれ、活気に満ちた皆様でした。人なつこい陽気な面々は弟のようでした。その卒業生が還暦を迎えられ、案内状をいただき、出席された皆さんと思い出や近況を聞き、立派になられ活躍されているのを目にしてうれしく思いました。昭和41年夏に硬式野球部が甲子園に出場を果たし、皆で応援にかけつけた事、その後も10数回続きました。また私と同期に着任された野々村監督が率いられたサッカー部は全国選手権大会やインターハイで優勝、輝かしい活躍をされました。我々の応援も長居をはじめ遠方にもかけつけました。スポーツは実に楽しいと思つたものです。退職して7年、北陽高校での38年間に心から「ありがとう」の気持ちが湧き上がってきています。本校が関大北陽として新たな出発をされたことには心から「おめでとう」を申し上げます。実は私は関大校友会の一員でありますので本当の弟になられたと思つ一杯です。

「学の実化」は「知・徳・体の調和」のとれた人間形成がその土台にあると思います。よき伝統を残し、本校と同窓会の発展を心よりお祈り申し上げます。



還暦の再会

昭和43年度 3年B組担任
大谷 宗平先生 (前校長)

昨年が始まった「還暦同窓会」。今年は43年春の卒業生が集まりました。還暦おめでとう。

思えば入学された40年は北陽高校の40周年という記念すべき年でした。

第一次ベビーブームの波が押し寄せていた時代であり北陽高校もマンモス校となった頃でした。教師には生徒管理能力が問われましたからこの年に初担任となった私は随分と緊張したものでした。今日は3B担任としてクラスの諸君に会うことが出来るという期待に胸膨らむ思いでした。実はこのクラスで卒業文集「55の道」が生徒の手で作られましたが、今聞いてみる機会を与えられたことは嬉しい限りです。読むほどに一人一人の顔が浮かんで懐かしくまたあのころ青年教師であった自分を思い出すのでした。四十数年が経ちそれぞれに充実した人生を歩んでこられたものと確信していましたが、出席された方々の発言をお聞きして一層その思い出を深めました。また、出席者全員の中で印象深かったのは、「北陽の厳しい教育の下で大いなる生きる力を身につけた」という感想をお聞きしたことでした。

北陽高校は85周年を迎えんとするときにあり、その特性を変革発展しつつありますが、「知・徳・体の調和」という教育理念を追求し更なる前進をされんことを願って止みません。

私も七十歳の古希を迎え、四十数年の北陽高校教師として送ってきた日々から得た力を今地域の人々との交わりの中で発揮していこうと努力しています。

またお会いしましょう。



還暦の再会

昭和43年度 3年K組担任
林 敏夫先生 (元校長)

昭和40年度入学、43年度卒の諸君、40年を東洋では不惑、西洋では最盛の時期としているようです。その40年に北陽に入学した諸君の集まりに招かれて、私は皆が北陽魂に燃えていると痛感しました。

諸君が在学した40年代は、学園が飛躍をめざして、最もいきいきと活動していた時だったのかなと思います。その象徴として、硬式野球部の甲子園初出場があったのだともいえます。そこにあった北陽魂とは何か。戦前、初代糸島校長は「知・徳・

体の調和した人間づくり」をはじめました。社会の中堅として役立つ人間づくり、その結果多くの人材を輩出して一躍有名になりました。また、「親を思え」「陰徳を積み」と熱つく説かれる話には説得力がありました。

戦後、北陽再建の使命を帯びて就任された三雲校長は多くの面で再生の実を挙げられましたが、自らがスポーツマンであったこともあって、クラブ活動にも随分と力を入れられ、その結果が野球、サッカーをはじめ全国にその名を知られる部が生まれたのですが、その力の源泉はなほ強い努力、「堅忍不拔の精神」であり、これこそが北陽魂だったのです。

この逞しい北陽魂をもった諸君が早くも還暦を迎えられて、なお昔を忘れず、それぞれに活躍されている姿をみて、喜びと嬉しさの気持ちで一杯です。

あれから40数年経って、私は過ぎ去った日のことを感謝、諸君のご多幸、ご健勝を祈っています。

還暦同期同窓会に参加して 近況報告「ボクシングは楽しい」

昭和43年度卒 3年G組
清酒 直一

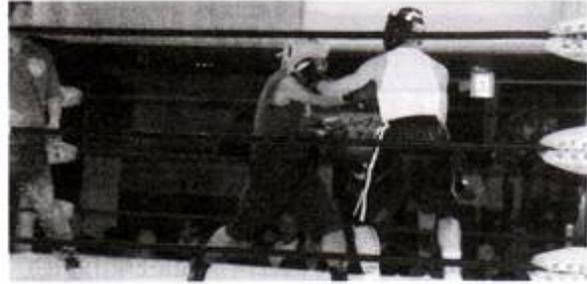
還暦同期同窓会に出席でき懐かしい顔ぶれに会い、40年前のことが昨日のことに思うひと時、久しぶりにお会いできた大島先生ともお話が出来て最高の日でした。

近況報告というわけではありませんが、今私は「ボクシング」に燃えています。

33年ぶりにボクシングのリングに立ったのは去年7月、大阪で開かれた第4回「オヤジ青春ファイト」です。私は50歳の時手術して胃を全適しました。

胃がんを乗り越えた私は大会最年長58歳で参加しました。相手は14歳年下、判定負けでしたがますますファイトが沸きりベンジを誓いました。

今年4月と11月の試合に出場し、11月の試合では素晴らしいプレーができ、その結果「勝利者賞」と「特別賞」をいただきました。ガンの方に勇気づけられたと思い戦い続けています。



思えば、北陽校サッカー部のDFとして野々村監督の下インターハイに出場させて頂いた数々の思い出は未だに忘れることができません。今ボクサーとしてこの年齢でもこれだけやれることで皆さんに元気と勇気を伝えることができたら本当に幸せです。

北陽高校での3年間の勉学と部活のお陰だと思っています。その恩返しのためにも健康を害することは絶対に避けて、ボクシングは楽しいことを「知・徳・体の北陽精神」で実証していきます。

願わくは母校関大北陽高校に
「ボクシング部」が復活されること御祈りつつ

北陽高等学校昭和43年卒業 還暦同期同窓会出席者の 一言コメント

- お名前/浅川 正行
(クラス名 M組)
コメント/Mクラス担任の宮崎先生に会えなかったのは残念な気持ちですが、林先生、大谷先生に会えて嬉しいです。
- お名前/辻 伸三郎
(クラス名 A組)
コメント/皆、元気で!!私も元気で毎日を大事にして生きて行きます。
- お名前/辻 道明
(クラス名 C組)
コメント/同期の温かさ気軽さを痛感しました。またワイワイ呑みたいものですね。
- お名前/新城 健吉
(クラス名 F組)
コメント/このような機会をもって頂きありがとうございます。又、おあいできる日を楽しみにしております。
- お名前/竹原 登三郎
(クラス名 I組)
コメント/楽しい会でした。今後もこのような催しを是非企画して下さい。
- お名前/浅井 利男
(クラス名 I組)
コメント/20年ぶりに母校に来て楽

しかった。

- お名前/則本 修
(クラス名 I組)
コメント/今回のこの場ありがとう。
- お名前/土屋 良信
(クラス名 I組)
コメント/20年振りに母校に来て、楽しかった。
- お名前/坂口 順一
(クラス名 I組)
コメント/北陽高等学校にありがとう
- お名前/中向 登美子
(クラス名 定B組)
コメント/有意義な時間を皆様と和気藹々と一緒に過ごせた事を有難く思います。これからもこの会が40回50回とずっと続く事願っています。
- お名前/東谷 潤
(クラス名 B組)
コメント/徐々に楽しく懐かしい若い頃を思い出し、感謝しています。
- お名前/坂口 幸一
(クラス名 B組)
コメント/大谷先生はじめ皆さんと会えて本当に良かったです。学校の発展をお祈り致します。
- お名前/種島 寿一郎
(クラス名 B組)
コメント/本日は懐かしく、楽しい一時を過ごさせて頂き有難うございました。在校生や諸先生方が頑

張っておられることに大変喜んでいきます。尚、次の機会にはもっと多くの方が集まれることを期待します。

- お名前/賀地 俊行
(クラス名 D組)
コメント/思い出が走馬灯の様に出て、部分切り取りフレームを付けて、焼き付けて置きたい心境でした。何か有れば参加したいと思います。
- お名前/山上 茂徳
(クラス名 D組)
コメント/楽しく過ごせました。これから仲間と2次会に参加します。
- お名前/大野 賢次
(クラス名 D組)
コメント/大変楽しく過ごせました。次回も出席致します。
- お名前/小笠原 幸郎
(クラス名 H組)
コメント/校歌が自然に出て歌えました事感激しております。
- お名前/永井 隆信
(クラス名 F組)
コメント/今後も定期的に全体クラス会が企画されれば是非参加したいと思います。
- お名前/大島 恒明(G組担任)
コメント/還暦同期同窓会にお招き頂き大変愉しく過ごさせてもらいました。懐かしい顔を見て遠い北陽時代の日々を思い出しました。これからの関大北陽高校のご発展を祈ります。(敬称略)

同窓の近況

昭和35年卒業 Eクラス同窓会開催

昭和35年卒業Eクラス同窓会は、卒業後50年目を迎え、また恩師 八田廣次先生がご逝去され10年目のことし、平成21年6月6日(土曜日)午後5時30分よりホテルグランヴィア大阪 葵の間において、八田先生のご親友 金澤 勇先生をお招きし、12名で開催した。まず、山本 正明君の開会の挨拶で始まり、ご逝去された八田 廣次先生、小銭 弘君・田中 勇雄君・藤沢 隆士君のご冥福を祈り黙祷を捧げた。そのあと、岡田 武志君の挨拶と乾杯の音頭で懇親会がはじまった。恩師 八田先生を偲ぶでの思い出話や出席者全員による素晴らしい近況報告をいただいた。金澤先生からは自治会や防犯協会・青少年育成会等の役員を務めNPOによる地域社会に貢献・ご活躍されているお話しを頂戴した。出席者より北陽高校と関西大学との合併に至る経緯や関西大学北陽高校の現状・体育系クラブの活躍状況、関大北陽同窓会の今後についてなど、多くの質問があり自身より説明報告し、納得理解をいただいた。最後に全員で元気よく校歌を合唱し、平井 栄治君の閉会の挨拶で健康と感謝をもって次回の再会を祈念してお開きとした。今回ご出席いただけな

かった方々の返信ハガキの中に、次回のクラス同窓会には万障繰り合わせ、絶対出席したいのご返事を多くいただいた。次回のクラス同窓会は、3年後の平成24年に古希Eクラス同窓会として開催を予定したい。

(昭和35年度卒 竜田 洋)



後列左より平岡 勇、山本 正明、大山 賢造、鎌田 吉二、桂 武久、竜田 洋
前列左より有年 安永、喜多 鐘詞、金澤 勇先生、岡田 武志、山口 勝三、平井 栄治
(敬称略)

3年A組 新世紀同窓会

2年前の平成19年6月16日に昭和51年A組の大島学級卒業後32年ぶりのクラス同窓会を開催した。それから2年後の平成21年6月13日に北新地の創作料理「俺」で第2回目の同窓会を開催した。

今回は、米川先生、山内先生をお招きすることができ参加のメンバーは大いに沸きました。当日は前回出席できなかったメンバーが1人新たに参加することができた。宴の方は山内先生の乾杯で始まりました。その後すぐに34年前の時代にタイムスリップしてしまいました。参加者の近況報告や当時の思い出などでは大いに盛り上がりあっという間に3時間が経ってしまいました。最後に米川先生に指導をいただき記念撮影を撮り、次回の再開を楽しみに同窓会をお開きしました。

米川先生は「古い友達(同級生)を大事にしていこう」と言っていたが、我々同窓生参加メンバーの合言葉としたいと思います。

これからも心の通う同窓会を続けていきたいと思っています。米川先生、山内先生有難うございました。

(昭和51年度卒 大崎 晴久)



参加したメンバーは、米川先生 山内先生 梶野忠行 栗本秀行 下田俊文
原口 敬一 大崎 晴久
仕事のため欠席3名/岩本光裕 入山和良 西浦 仁(敬称略)

昭和40年度卒業 3年L組同窓会の報告

平成20年4月に関西大学北陽高等学校と校名が変更されてから初めての同窓会を12月2日(水)に前回開催場所と同じ大阪南の千日前「松鮎」で開催しました。

前回体調が悪く参加出来なかった故郷江通輔先生はここにはいません。寂しいかぎりです。しかし、前回もご出席いただいた1年生の担任の杉本勝美先生にご出席いただき元気なお顔を見させていただきました。

当日の参加は12名、杉本先生のご挨拶のあと乾杯、出席者の近況報告では「九死に一生を得た」等の話があり、また、途中出席できなかったメンバーから電話が入り、電話をメンバーに回し元気な声のやりとりがあり、大変宴会も盛り上がりました。

母校の話題でも陸上競技部が過去31年連続出場していた「清風高校」を破り、全国大会に大阪府代表として京都都大路を走ることになり、同窓生の応援をお願いします。

あ〜と言う間に3時間半が経ってしまい、最後に出席者全員で写真をと

り、校歌を歌い、次回会うのを楽しみにして同窓会を終わりました。

(昭和40年度卒 城島 末明)



後列左より、山本久雄 三枝利幸 田守久之 岩内修二 森田保幸
平井喜九三郎 城島末明
前列左より、柿本信行 内藤久雄 杉本先生 柳原正義 下田友司(敬称略)

関東支部だより

平成21年度 関西大学北陽高等学校同窓会
 関東支部会及び懇親・懇談会が開催されました

平成21年度関西大学北陽高等学校同窓会
 関東支部会及び懇親・懇談会が平成21年5
 月16日(土)14時より東京丸の内のパバミ
 ラノサビアタワー店において開催されました。
 本部から神山会長、関東支部から最年長の
 菊野良平先輩(昭和17年卒)を含む総勢8名
 で開催となりました。



支部会の開催前に本年1月に死去されまし
 た前関東支部長の岡部 守隆氏(昭和39年卒)
 の冥福を祈る黙とうを行ったのち、神山会長
 から母校の近況報告並びに第32回定期代議

員会の審議等について報告が行われ、次に初参加である原 強氏(昭和51年卒:上智大学法科大学院教授・弁護士)の紹介が行われ、引き続き内海支部長の乾杯で懇談会が開催され和やかな雰囲気の中で終了しました。

(昭和45年度卒 國府島 勇三)

ご紹介します!



料理長(シェフ)は、京都セン
 チューホテルで修行した、
 息子の聡司です。

平成20年12月に日本料理店【聡
 庵】をオープンしました。
 「五穀旬斎」旬の新鮮な素材を
 大事に日本料理の伝統を生かし
 た、季節感あふれる料理をご賞
 味ください。

私は在学中の在籍クラブは、
 バレーボール部所属でした。
 ご会食・ご宴会にご利用ください。
 ご予算・日時は、ご相談に応じ
 ます。
 昭和35年Eクラス卒業 平井 栄治



大阪市中央区内野町二の四の九
 タカオカビル 地下一階
 電話 06-6944-2356
 営業時間 - AM11:30 ~ 14:00
 PM17:30 ~ 22:30
 定休日 日曜日・祭日
 平日は朝7時のみ営業

- S. 4年卒業 陰下 民治様
- S.15年卒業 鶴本 実様
- S.17年卒業 佐藤 栄一様
- S.18年卒業 平野 正勝様
- S.20年卒業 中川 勇様
- S.23年卒業 生島 勇様
- 田村 敏夫様
- S.29年卒業 武田 学様
- S.34年卒業 森 八郎様
- S.41年卒業 源 守様
- S.42年卒業 福井 孝様
- S.43年卒業 村上 光政様
- 林 助二郎様
- 小谷 正昭様
- S.45年卒業 平瀬 雄一様
- S.46年卒業 中村 良一様
- S.63年卒業 宮本 誠司様

卒業年度順、S=昭和 平成21年11月末日現在

ご逝去され、
 今年度ご家族・ご友人から
 ご連絡いただいた会員。
 ご冥福をお祈り申し上げます。



卒業される皆さんへ贈る言葉

PTA会 会長 今井 徹



卒業生の皆さん、このたびはご卒業おめでとうございます。又、生徒の保護者の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。そして保護者の皆様方にはPTA活動におきましては、大変ご協力賜わり誠に有難うございました。この場をおかり致しまして、厚く御礼申し上げます。先生方におきましては、三年間大変お世話になり誠にありがとうございました。

本当に、本校の卒業生の皆さんを見本として、私たちが学校へ訪問した際には、皆いつも元気な挨拶をして頂きます。当たり前のことがなかなかできない時代になってきている中、生徒の皆さんは、礼儀や素直さを持って学校生活を過ごして来られたのだと実感致しました。

ぜひ、本校を卒業したことを誇りに持ち、又、この学校で学んだことや経験したことを、これからの新しい生活へ少しでも生かせればと思います。そして、夢を持ち、常に前を向いて進んで下さい。くれぐれもご自愛され、今後のご活躍を心よりお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

北陽最後の生徒会会長として

生徒会 会長 吉永 明人

私が生徒会執行部に身を置いたこの三年間は、様々な体験を経て多くのことを学ぶことができた貴重な時間だったと思います。

この間、関西大学と合併して共学となり、周りの環境も大きく変化しました。そして、来年度からは中学校もできることになりました。そんな中で文化祭や体育祭などの大きな行事も年々大変になり、夜遅くまで学校に残ったこともありました。それも今となっては良い思い出です。みんなで一致協力しながら一つの大きな目標に向けて取り組む、この経験

は私を大きく成長させてくれました。環境が変わってもこれまで先輩方が築き上げてきた校風と伝統はこれからも決して変わることなく、引き継がれていくことでしょう。

伝統ある北陽高校の最終学年を生徒会長として務めあげることができたことはこの上なく名誉なことです。今後もこの素晴らしい学校が栄えていくことをお祈り申し上げます。



TOPICS

陸上競技部が全国高校駅伝大阪府大会で初優勝しました

全国高校駅伝の予選会を兼ねた「男子第60回・女子25回大阪高校駅伝競走大会」が11月8日(日)、淀川右岸河川敷コースで行われ、本校陸上競技部(男子)が、31年連続優勝の清風高校を11秒差で振り切って見事初優勝を果たしました。

出場選手と記録は次の通りです。

- 第1区 秋山 怜士 (大阪・桜丘中学出身) 31分16秒 (区間1位)
 - 第2区 篠原 昂平 (大阪・新北野中学出身) 8分54秒 (区間1位)
 - 第3区 為石 勇太 (大阪・淀中学出身) 25分13秒 (区間1位)
 - 第4区 柿原 聖哉 (兵庫・南ひばりヶ丘中学出身) 25分29秒 (区間2位)
 - 第5区 水間 洋太 (大阪・吹田第一中学出身) 9分21秒 (区間3位)
 - 第6区 北浦 正也 (大阪・千里丘中学出身) 15分36秒 (区間1位)
 - 第7区 熊崎 健人 (兵庫・本山南中学出身) 15分38秒 (区間2位)
- 総合 2時間11分27秒 優勝!!

以上の結果、12月20日(日)に京都府・西京極陸上競技場付設コースで行われる第60回全国高等学校駅伝競走大会への出場権を獲得しました。

「報告」全国大会出場にあたりお祝い金として同窓会から10万円、関西大学校友会(会長 寺内俊太郎氏)から10万円



平成21年度 同窓会協力募金 ご協力ありがとうございました

平成21年11月末現在で、下記の通り、会員の皆様方より980,000円のご協力を頂きました。これもひとえに会員の皆様が、我が同窓会活動へのご理解とご協力と存じます。

ここに改めて会員各位に厚くお礼申し上げます。
当委員会は、機会あるごとに同窓会各位に呼びかけてまいりますので、今後ともご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。 組織・事業委員会

同窓会会員・会費協力募金協力者名簿

卒業年度 S=昭和、H=平成 卒業年度順・敬称略 平成21年11月末日現在

卒業年度	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度	氏名
元理事長	福武 道裕	S. 24年	松浦 勇		往田 雄三	S. 54年	曾川 透
元教職員	隅田 雅裕	S. 26年	古川 貞夫	S. 40年	A・k azuo		吉井 寛
元教職員	松岡 英孝		山口 恵司		鈴木 道男	S. 55年	北尾 稔
元教職員	金澤 勇		神保 信行		寺井 弘隆	S. 56年	康村 則雄
元教職員	林 敏夫	S. 27年	川中 一雄		梶川 尚男		仮 千次
元教職員	大谷 宗平	S. 28年	斎藤 勇		城島 末明		延田 容一
元教職員	服部 舜一	S. 29年	木田 公三	S. 41年	江蔵 通芳	S. 57年	高木 宣宏
元教職員	棒谷 啓二	S. 30年	三野 英男		西田 和夫	S. 58年	塩津 広徳
元教職員	池崎真理子		堀 佳夫		喜多 憲治		木本 和行
元教職員	倉石 文昭	S. 31年	辻橋 佑一		松原 民郎		田中 一嘉
元教職員	長谷川清和	S. 33年	梅森 薫		山崎 定男		山口 茂
元教員家族	八田由紀雄		神山 興三	S. 42年	池永 博文	S. 59年	中山 義允
S. 4年	陰下 民治		木村 孝男		足立 宗央	S. 60年	尾田 正広
S. 9年	岡田 耕一		小林 栄三		栗原 貞雄	S. 61年	吉田 典生
S. 11年	福嶋 頼夫		丸山 一		松本 純一		田村 和照
	土井 正男		石川 隆一		豊増 吉業	S. 62年	松井 勝博
S. 15年	高木 隆雄		天方 正和		井原 秀夫		田中 憲一
	鶴本 実		吉田 健		米川 修二	S. 63年	室原 宏信
	中村 正夫	S. 34年	吉田 稔弘		寺田 賢作		栗栖 和哉
S. 16年	宇野 宏		入江 晃央		福永 幸正		宮本 誠司
	木下 浩		西川 新一	S. 43年	飯川 隆司	H. 元年	田村 隆之
	西村 一男	S. 35年	浜元 孜		内海 昭	H. 4年	村上 崇
S. 17年	菊野 良平		有年 安永	S. 44年	利川 元善		西澤 宏之
	北川 慶一		岡田 武志		長崎 慶一	H. 5年	横野 幸一
	伊佐見秀雄		竜田 洋		宮野 孝雄	H. 7年	田中 堅信
	藤滝 昇		平岡 勇	S. 45年	国府島勇三	H. 8年	上川 貴也
S. 18年	奥田 正道		平井 栄治		北川 徹	H. 10年	上掛 友也
	辻谷 豊		山本 正明		吉川 敬一		田中 乗光
	札幌 治男		永岡 一泰	S. 46年	小倉 辰夫	H. 11年	芥子 久倫
	内田 典雄		振津 和生		籠 忠夫		園田 宜弘
S. 20年	瀬戸口 潔	S. 36年	前田 省三		小森 和信	H. 13年	北川 功
	深谷 正晃	S. 37年	相坂 洋一		後田 栄治		永野 路博
	荒木 俊夫		前田 昌昭		橋本 幸弘		魚谷 知生
	田島 瑛夫		村田 正明	S. 47年	西川 純央	H. 14年	栄根 浩司
S. 21年	岡本 修		森 清一郎	S. 48年	山本 武司		中島 隆公
S. 22年	廣瀬 榮一		木原 義一		山下 雅二	H. 15年	平井 康夫
	中井 一清		吉木 栄次	S. 49年	池田 勝一	H. 16年	中田 脩介
S. 23年	西佛 之光		十時 良雄		山野 孝義	H. 19年	奥野 雅史
	武岡 昭夫	S. 38年	岩本 博義	S. 50年	長谷川 成	H. 20年	池田 真也
	田村 敏夫		大野 健三		木ノ下良久		神原龍之介
	擦本 忠次		大矢 登		中尾 明		本野 裕之
	粟田 文吉		松村 清正	S. 51年	樋口 忠博		藤井健太郎
	三木 憲三		浦野 武志		岡田 彰布	H. 21年	久米 将五
	西本 芳男		辻井 宏		原 強		下吹越 樹
	村尾 清道		中谷 享		星野 勝		谷口 大介
	山本 智生	S. 39年	内田 勝次	S. 52年	岸間 忠秀		明星 悠輝
	杉山 友洋		堀岡 宰充		藤田 健司		越前 龍司
S. 24年	寺西 克美		木村 啓二		八木 知之		

校歌

作詞者：横山 藤吾
作曲者：牧野 卓央

一、漲る水の大淀川の
光も清く爽くところ
浪速若子と名を負いて
浪速若子と名を負いて
契りを結ぶ我らが北陽

二、廢墟に繁る雜草に
古き歴史は亡ぶとも
高き匂いに咲く花の
高き匂いに咲く花の
文化の都興さずや

三、漆を洗う海潮の
続く世界に眼を開き
流れて止まぬこの水に
流れて止まぬこの水に
世紀の魂を磨かずや

同窓会からのお知らせ

総務委員会

●会報の発刊と送付について

平成21年4月18日(土)の第32回定期代議員会において、会報の発刊継続と条件付送付が決議されました。「送付の有無」を次により手続きして頂きますようお願いいたします。

☆平成16年度卒以前に卒業され送付ご希望の方は、必ず【同封のハガキ】に会報「北陽同窓」の送付を(○)希望すると記入して投函して下さい。

●還暦同期同窓会の開催について

来年11月13日(土)に開催される「還暦同期同窓会」を、還暦を契機に恩師と同窓の旧交を温めて頂くための集いに発展させ、「同期同窓会」として開催いたします。

☆昭和44年度以前に卒業され出席ご希望の方は、【同封のハガキ】に「60歳以上(昭和44年含)の方にお聞きします」欄に、出席を(○)考えていると記入して投函して下さい。

●代議員の推薦について

☆より多くの卒業生に参加して頂くことが、同窓会の願いであり、活性化に繋がると考えています。自薦・他薦を問いませんので【同封のハガキ】に代議員に参加してみたいと(○)考えていると記入して投函して下さい。

ご要望のご回答につきましては、【同封のハガキ】でなく「FAX 06-6320-3032」、
「メールアドレス info@hokuyo-ob.jp」でもお受けしますので、宜しくお願いします。



編集後記

「北陽同窓」の発行継続が第32回定期代議員会に於いて決議されましたが、5年に一度(次回は第35号)記念特集号として全卒業生に送付される意味では、今回が最後の会報となります。

そこで、広報委員会としては出来る限り紙面内容を定番化し、より多くの卒業生の皆さんに寄稿して戴くことを念頭において、紙面作りを進めてまいりましたが、現実には厳しく、原稿依頼も偏りがちで、時間的にも余裕が無く発行しているのが現状です。

母校・恩師・卒業生の三位一体を目指す同窓会にとって、【会報・ホームページ】を担当する広報委員会の役割は、ますます重要になってきます。そのためには出来るだけ多くの方々にご意見を頂き、参画して頂ければ広報としての役割である「北陽同窓」の発行継続は、難しくなってしまいます。

どうかこの役割(自薦・他薦を問わず)を担っていただける方々のお声をお待ちしております。よろしくお願ひします。

広報委員会一同